

聴講無料

東社振総会記念講演

講師 朝日新聞社会部記者

なかやま ゆ み
中山由美氏

東社振とは、東部地区全ての市町が加入している組織で、社会教育活動の充実と市町間の連携を図る目的で、昭和39年に発足した。

演題 「南極から地球が見える」

中山氏 プロフィール

千葉県出身

1993年、朝日新聞社に入社。青森、つくば両支局、外報部、社会部などで勤務。外報部時代、9・11同時多発テロ実行犯の生涯を追った長期連載「テロリストの軌跡」を担当した一人で、ドイツや中東を取材。2002年度の新聞協会賞を受賞する。

2003年11月から05年3月まで、女性記者として初めて、南極観測隊に同行して越冬した。雪上車で1カ月かけて、標高3810m、零下60度のドームふじ基地へも遠征する。グリーンランド氷床やヒマラヤ氷河も取材し、極地から地球環境を見つめる。

著書は、「テロリストの軌跡」「こちら南極 ただいまマイナス60度」「南極ってどんなところ？」(共著)など。



南極で活動中の中山氏

○日時 5月21日(金)

14時30分～(総会終了後から概ね1時間程度)

○場所 環境改善センター 文化ホール

※当日は役場駐車場、中瀬邸駐車場の混雑が予想されます。駐車台数に限りがありますので、徒歩での来場にご協力をお願い致します。

○問合せ 松崎町教育委員会 TEL 42-3971

地球温暖化の脅威は、世界規模の問題となっています。しかし、我々が影響を感じることは、ほとんどありません。南極をはじめ、世界各地で取材をしている中山氏の目には、温暖化の影響はどう映っているのか。ご自身の見つめてきたことを、たっぷり話していただきます。